

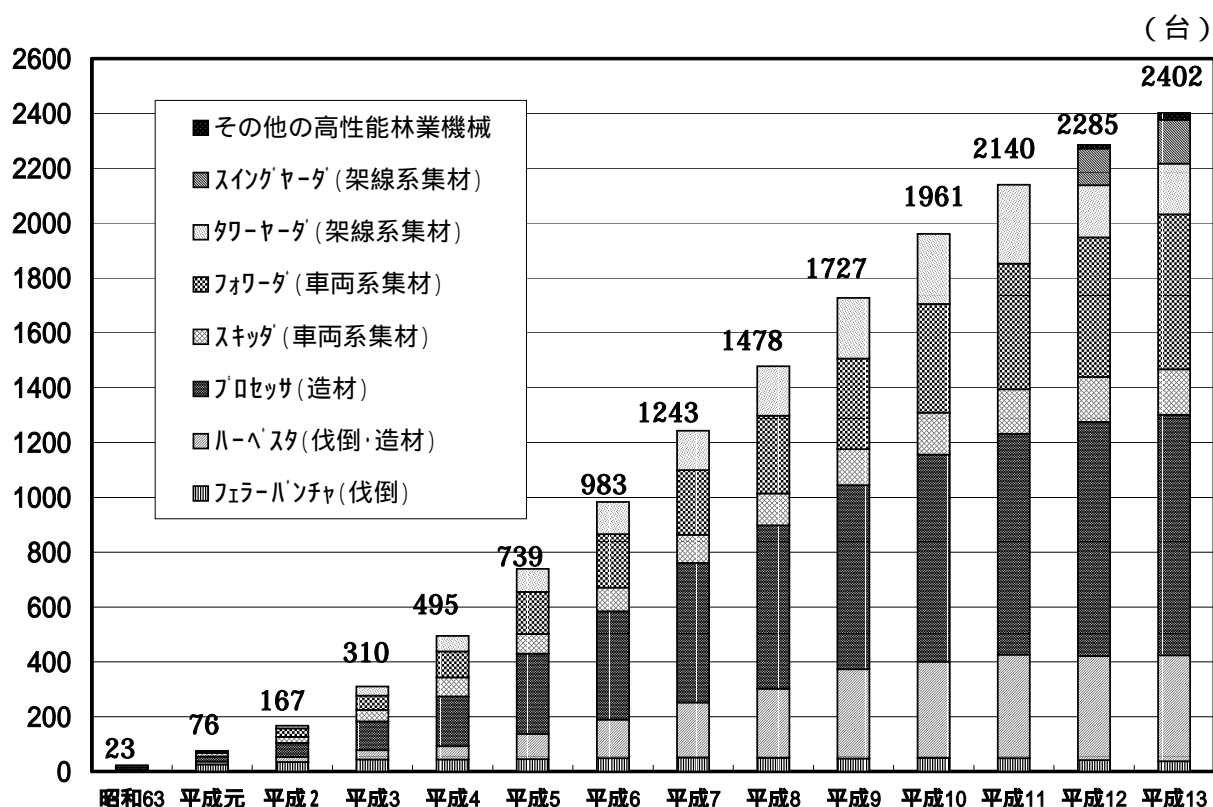
表1 高性能林業機械の機種別保有台数(平成14年3月31日現在)

機種名	平成12年度		平成13年度		増減台数
	保有台数(台)	割合	保有台数(台)	割合	
フェラーバンチャ(伐倒)	42	1.8%	38	1.6%	-4
ハーベスタ(伐倒、造材)	379	16.6%	386	16.1%	7
プロセッサ(造材)	854	37.4%	877	36.5%	23
スキッド(車両系集材)	164	7.2%	166	6.9%	2
フォワーダ(車両系集材)	509	22.3%	565	23.5%	56
タワーヤダ(架線系集材)	190	8.3%	185	7.7%	-5
スイングヤダ(架線系集材)	134	5.9%	160	6.7%	26
その他の高性能林業機械	13	0.6%	25	1.0%	12
合計	2285	100.0%	2402	100.0%	117

本調査では、その他の高性能林業機械は全てハイブリッド機械であった。

ハイブリッド機械25台の内訳は

- ・プロセッサヘッド+スイングヤダウインチを有する機械が10台
- ・グラップル付バケット+スイングヤダウインチを有する機械が13台
- ・グラップルソー+スイングヤダウインチを有する機械が2台



注1) 平成11年度以前はタワーヤダの台数にスイングヤダの台数を含む。

注2) 平成12年度から「その他の高性能林業機械」の台数調査を開始した。

図 高性能林業機械の保有台数の推移